

令和6年12月25日

## 事業計画書

株式会社 日美産業  
代表取締役 山本 隆

### 1、 会社概要

(会社の経歴や主要な事業等を記載)

当社は現代表取締役の山本隆が昭和60年6月に設立し昭和61年5月現在地に最終処分業(安定型)の許可を取得し、後に収集運搬業の許可を取得し産業廃棄物処理業を開始いたしました。平成2年には第二期最終処分場を開設し、平成13年に最終処分場の埋立を終了致しました。

平成14年11月15日付けで中間処理施設の許可を取得し平成17年に更新、さらに平成22年2月1日の更新、平成27年2月27日の更新を経、令和2年6月5日に更新を致しました。

平成15年7月に廃棄物再生事業者登録(木くずの再生)を行い、当社では特に建設業・解体業から排出される木くずの処理を主力事業としており、搬入された木くずを破碎してチップ化し、さらにおが製造機にて破碎し、おが粉を生産しております。おが粉は主として南房総地域の酪農家に販売しております。その後酪農家により堆肥化され一部はホームセンター等で牛糞堆肥として販売されております。また、チップは発電用燃料として現在千葉県市原市のバイオマス発電所に売却しております。また、昨年度よりボードの原料としてボード工場に納入を開始しました。今年の台風の大規模な被害からして今後も伸びる事と予想されております。木くずについては100%近くのリサイクルを行っています。

また蛍光灯は蛍光灯破碎機にて処理し野村興産に最終処分を委託しており当該施設を通して地域に貢献していると考えております。

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずについては破碎した後千葉県まちづくり公社及び杉田建材等に最終処分を委託しております。

紙くず、繊維くず、廃プラスチック類の一部は圧縮梱包し杉田建材等の中間処理施設に委託し焼却処理をお願いしております。

金属くず・紙くず・廃プラスチック類等のリサイクル可能品目については特に力を入れております。

今後も産業廃棄物処理を通じて地域の発展に貢献してゆく所存であります。